

結婚20周年記念 ヨーロッパ旅行

ロマンチック街道とスイスアルプス・パリ 9日間

旅行日 1987年4月26日～5月5日

旅行業者 近畿日本ツアーリスト

4/26

- 11:34 鹿間発
- 12:28 近鉄四日市発
- 13:13 ひかり 名古屋発
 - *東京八重洲口より歩いて 15 分 ホテルイン東京にチェックイン
- 15:30 買物外出 秋葉原でウォークマン(¥28,000)購入
 - *上野・アメ横ぶらり うなぎ弁慶で夕食
- 19:30 ホテルインに帰着

4/27

- 6:00 起床
- 7:15 朝食
- 7:33 チェックアウト
 - *タクシーで TCAT へ (途中盛んに成田までサービスすると勧誘される)
- 7:38 TCAT 着 成田までの乗車券一人(¥2,500)
- 7:45 TCAT 発 首都高速→湾岸道路→京葉道路→成田・北ウイング着 9:00 頃
- 9:15 西濃航空サービスへ TEL スーツケースの配送依頼
- 9:30 Dカウンター横案内所前 荷物を一部入替え
- 9:45 D-50番近畿ツアーリストの添乗員(小峰さん)に一番にチェックを受ける。
 - *パスポート、トラベラーズチケット、搭乗券、入口カード、荷札など
 - スーツケースのベルトは盗まれるので外す。
- 10:50 時刻表前集合 全員を簡単に紹介、諸注意、空港使用料(¥2,000)
 - *手荷物、ボディチェック(フィルムケース、ビデオ検査を受ける)
 - 23番乗場 途中スナックで軽食
- 11:40 SU582便(エアフロート)に搭乗 座席14A, B
 - *内部は新幹線より少し広いぐらい、乗車率80%程度
 - 離陸距離も短く、天気も良く、快適なフライト
 - *15分位で日本海側の雪の山が2,3見え、佐渡ヶ島を後に海の上

- 約1時間程で雲の上から、雪一面の景色に
- *雪のシベリア上空を7~8時間、モスクワ着15分前まで同じ景色
- 17:00 (日本との時差 5時間)
- *モスクワ空港到着、パスポート検査、
- 21番口(一番奥)でホテル行きのバスを待つ
- *交替で土産物店で買い物(1ルーブル=¥240)
- 18:30 予想より早く出迎えが来る、路面電車のようなバス
- *1人づつアエロフロートのキップを受取りバスに乗車(我々が一番)
- 18:40 2分でホテルに到着
- *20階建だが、外観も内部もひどいもの、従業員も予想通り愛想がない
- しかし昨年よりは随分良くなっているようだ。
- *受付で711の紙切れを受取る、この紙切れと部屋のキーを変換する
- 部屋は何もないがきれいになっている
- *ベッドもソファもランプも粗末、バスは使用不能、トイレ有り
- 19:15 食堂へ行き夕食(クーポン券)
- *言葉には表せない味で、何とか口に押し込む
- *従業員のマナーは最悪(私語ばかりしている) 途中から自分で取りに行く
- 19:40 夕食後に数人がホテル内のバーに行ったが、とても行く気にならなかった
- 20:00 就寝

4/28

- 3:00 目覚め
- *ソ連のこと、シベリアのこと、これからのこと、パリのことを思い巡らす。
- 恵美子も、うたた寝の様子
- 4:00 起床 昨日のことをメモに整理(1時間)
- 5:00 恵美子 起床
- *夜明けの白樺林を窓からじっと眺める。小雪がちらつき出す。
- 6:00 モーニングコール(ロシアなまりの英語)
- 6:40 ホール集合 乗客のいろいろ
- *ワルシャワ行きの老夫婦(5~60代)、オスロに行く大道芸人一家
- *ミラノに帰るオペラ歌手(36歳春日さん・加藤前会長を知っていた)
- *イヌをつれた老婦人(フランス系)、ウォッカを抱いて毛布を被ったオヤジなど
- 7:10 我々ツアー組が一番にバスに乗車
- *目の前の空港へぐるっと廻って到着、周囲は昨日より貧弱な印象

- *空港で搭乗券とパスポート検査(バスに座った分検査が最後となった)
- *食堂に遅く到着したら、ウェートレスの準備が遅く2回も催促して 8:10 頃
パンが到着、サラミ、チーズ、ゆで卵、紅茶 他の乗客はじっと待っている。
- 8:30 食事終了 急いで17番搭乗口へ
 - *「フランクフルト」と大きな声でスチュアデスが呼んでいる
すでに搭乗が始まっていた(8:50 予定だった)
 - *機内は90%程搭乗していて、相撲取りのような男性の横に二人で座る
彼はドイツ人で、モスクワに仕事に行った帰りだった。
- 9:00 離陸 今回も快適なフライト(機内、パイロットともレベルが高い)
 - *しばらくして機内食(チキン、リンゴ、パン、イクラ、ピクルスなど)
ほとんどの人が残っていて、隣人は小さな席で動けず何も食べていなかった。
- 10:00 フランクフルト着(時差2時間)
 - *これが西側の空港だ(モスクワとは雲泥の差)
スマート、活気、清潔、効率的、入国検査もパスポートも開かずパス
 - *ソ連の疑り深い目で待たされたことを思うと「日独同盟バンザイ」
マルク交換 2万円=250DM
 - *手荷物受取(SUN ワッペン盗られていた)
 - *ポーターの効率的な積み方に一同感心 12個を小さな台車に何事もなく
 - *現地ガイドと合流、駅前にチャーターバス待機(運転手Mr. クラウス)
 - *市内 ゲーテハウス見物(約1時間)
 - *三越で買い物
- 12:00 レストランで食事
 - *アップルワイン 2杯飲む
- 14:00 フランクフルト市内を後に(橋の上から教会が見える)
 - *ライン河めぐり、古城めぐりに出発 “見るものすべて新鮮！！”
 - *よく手入れされた新緑の森がすばらしい すぐにでも散歩したい感じ
家並みも美観に配慮されている
 - *りんごの白い花、レンギョの黄色い花、八重桜のピンク、プラタナスの白い花
一斉に花が咲き競っている
 - *途中、クラウスの好意で、つぐみ横丁に立寄る・すばらしい所だ
 - *ライン河にそって古城が次々に現れる景色は、何とも言えないすばらしさである。
 - *全体に少し遠すぎるが、止まって見学したいが時間がなく残念だ。
(ドライブも河下りも同じようだ)
 - *それよりも河沿いの町並み、家並みのすばらしさに圧倒される

- 17:30 コルブレッツからハイデルベルグへの道でハプニング発生
*「最初はライン河沿いに戻る予定を」、クラウスガアウトバーンを通して大回りしてくれることになったが、途中で道を間違え、約1時間この辺を走り回った。彼の好意から出た事で、我々も添乗員も協力して道を探したが、
*彼は英語が少ししか話せず、ガイドは独語を少ししか分らず英・独語のチョンポンで大騒ぎをして、2時間遅れでハイデルブルグに到着、全員で拍手
*アトラスホテルに到着、急いで食事へ
- 21:30 町を散歩したが、古い市街が遠いので1時間程でホテルに帰る
- 24:00 入浴・就寝

4/29

- 5:00 目覚める
*昨夜は何も手をつけられなかったので、荷物の整理、日誌記入等
*今日の服装はジーパン、ハイネック、赤のジャンパー
予想に反して暖かい(日中は暑いくらい)
- 6:30 モーニングコール
- 7:30 荷物出し
- 7:40 食事 朝食のパンが最高、パンを食べるだけで他に何も入らないくらい
(おいしいごはんはおかずがないのと同じ)
*みんなでパン談義、岸田の奥さんは東京の西武で()ノートという店で似たものがあるという。
*後で分かったことだが、岸田さんのご主人は、自民党・広島県出身の国会議員で息子さんが会社を止め、議員秘書として後継の道に進んだので、今回の旅行となった。
*ついでに今回のメンバーは
新婚 3組
伊藤氏 静岡出身東大航空工学科卒 ホンダ・宇都宮就職 高校の同級生カップル
彼女は静岡市より車1時間の分教場で、3年間小学校教員
吉富氏 宇都宮出身東大航空工学科卒 富士重工就職 偶然Aの近くに住んでいる。
彼女は石野真子そっくり
安藤氏 横浜・新百合ヶ丘・大塚商会勤務
彼女は資生堂勤務、いつも二人で行動
1人で参加の東京外大2年・彦野嬢 KDD国際にアルバイト ウルドウ語選考
一番若く快活、しっかりしている
我々二人は、新婚カップルに負けない位仲良く旅行、一番楽しんでいる雰囲気

ガイドの小峰さんは外大を出て一度旅行会社に勤め、辞めて、又添乗員をしている
独身 30歳前半ベテランではないが、一生懸命頑張っている。

- 8:30 現地ガイド 中山さんの案内でハイデルブルグ城見学
*廃城がこんなに美しいものが感激、2時間の見学が瞬く間に終わる。
ビデオを持ってきて良かった。
*城見学の後で、マルクト広場へ
楽しい雰囲気 ぐるっと早足でまわって ハイデルベルグを後にする
- 11:00 昨日と同じく古城街道をネッカー河沿いに走り、ローテンブルグへ
*途中アウトバーンを含め、ドイツの道路網の素晴らしさに感動。
いつかはこの道を走り回りたい！ 一番前の席で運転している気持ちになる
*ドイツの田舎の豊かさね勤勉さ、車のマナーの良さ、少しスピード狂の一面も
*通行料はすべて無料、踏切はノンストップ、スピード規制は田舎道でも80キロ
追越し規制も一部だけ、パトカーの姿もほとんど無く、もちろんネズミ捕りも
これこそ道路、これこそドライブと感心
- 12:50 ローテンブルグ 中世の町に到着
- 13:00 一気に飲みを見て、レストランで食事、言うことなし！
*市庁舎の塔に登って街を一望 言うことなし！
(恵美子が少し貧血、職員が親切に手当てをしてくれた)
*町の土産物店に入った 言うことなし！ ビデオに収めた
- 14:40 出発
- 15:20 デッケンスブール 小休止
*ドイツハウスでティータイム
この地のトイレのきれいなこと、カメラを持って入りたい位
- 16:00→19:00
ロマンチック街道を一路 ミュンヘン へ
- 19:00 ミュンヘンの近代性、BMWの本社ビルのすばらしさ
- 19:30 市内で少しホテルを探し横道へ、ピンクムードのホテル・メルキュールに到着
- 20:00 ホテル・レストランで食事
*みんなで市内に繰り出す、中央駅前から歩行者天国へ
*ウィンドーの飾りを楽しみながら、ビアホールへ
ビールとソーセージで乾杯、私の片言英語で充分通じる
*70歳位の酔っ払いのおじさんと意気投合(バイエルン風スタイル)
ジャパニーズ・カイザー ヒロヒト バースデー(29日)など
*1時間程楽しんで 60DM(¥4,600)

*肩を組んで写真を取りながらホテルへ

4/30

8:00 ミュンヘンを後に、ノイシュバンへ

10:20 突然思ってもいない場所に、ノイシュバンシュタイン城が現れる

*ワグナーの音楽を聴きながら走っていると、バスと何度も行き交う。

*マイクロバスに乗換え、橋の側まで行くと、絵はがきそのものの古城が見えた。

*ビデオに採ろうとしたら、バッテリーが切れていた(残念)

*城内は見るもの全てがロマンチック、内装・外観の優美さ、合理性など

*見学後歩いてレストランへ

14:00 出発

*西独→オーストリア→スイスと国境を越え、チューリッヒへ

18:00 コンチネンタルホテルに到着

*到着後すぐにハンホーフ通りへ買い物に行くが残念ながら CLOSE

19:00 ミートフォンデュで会食

*全員が簡単に自己紹介、みんないい人ばかり、最高のメンバーだ

5/1

5:00 起床

6:00 モーニングコール

6:30 荷物出し

6:40 食事

7:20 出発

*だんだんとアルプスが近くなるに従って、雪山が見えてきた。

*手入れの行き届いたスタンドでトイレ休止

10:00 グリンデルワルド到着

*町中に寄らずに、すぐ登山電車に乗る

*乗換えのクライネシャイデック駅は、雪の中にあつた。

*アイガーの北壁を眺めながら、レストランで肉料理と白ワインで昼食

*土産物店でカウベルとエーデルワイズの小物を買う。

13:00 いよいよ登山電車でユングフラウヨッホへ

*到着後すぐにスフィンクステラスへ

*ユングフラウとアレッチ氷河が目の前に広がり、今までに見た最高の景色である

*しばしの間、本場のアルペン気分にした後、氷の宮殿を楽しむ

- 14:00 ヨッホ発
- *車内でパキスタン人家族と食べ物を交換(スルメ、オカキ→)
 - *クライネよりラウターブルンネンに向かう
 - *ヨッホの興奮が冷めない中、窓を全部開けた車内で、我々ツアーだけで、ふり回りふり回りしながら、アイガー、メンヒ、ユングフラウを後にする。
 - *車窓からこれらが雪山が手に取るように見え、グリンドルより景色は良かった。
- 15:50 ラウター到着
- *クラウスが迎えに来ていた。
 - *KIOSKで地図を買い、クラウスに通った道をサインペンで書いてもらう。
- 16:20 ジュネーブに向かう
- *景色を堪能した気持ちで、久し振りに車内で寝込む
 - *ガイドの声で眠りを覚ますと、ヨッホの登頂記念証をもらう。
- 19:30 ジュネーブ ホテル・デベルンに到着
- *途中レマン湖の湖畔を通り、噴水とイルミネーションがきれいに見えた
 - *ホテル内の時計店で自分用に時計(オメガ)を購入する。

5/2

- 5:00 モーニングコール
- 5:30 荷物出し
- 6:00 ホテル出発
- 6:50 ジュネーブ駅発 特急GTV 車内は新幹線よりゆったりしている
- 10:40 パリ・リヨン駅着
- *カメラの紛失に気付くが、車両に戻っても無かったので盗難として処理する。
 - *バスでJUN(日本食レストラン)へ行き昼食、
 - *食後市内観光(エッフェル塔、ノートルダム寺院など) 免税店で買い物
- 18:30 メリディアン・ホテル着
- *スーパーへ買い物に行く、彦野嬢の誕生祝いのミニケーキ購入
- 19:30 夕食

5/3

- 6:20 起床
- 7:00 二人だけでタクシーでノートルダム寺院へ、セーヌ河沿いで写真撮影
- *リュクサンブール公園などを散歩する
 - *タクシー(ポーランド人運転手)を拾ってホテルへ

- 9:10 ヴェルサイユ宮殿へ、門前は長蛇の列
*フランス人の日本語専任ガイドの案内で宮殿内を見学。
*豪華絢爛とはこの事か、フランス革命の意味も多少理解できた。
- 12:30 バトームッシュ(セーヌ河観光船)で昼食、2時間の乗船を楽しむ
*自由の女神はパリが発祥であることを知る
- 15:00 KAM(ルーブル美術館前)に到着
*見学時間が2時間程度なので、駆け足で走り回る
*モナリザ、ナポレオンの戴冠式、サムトラケの二ヶ像に直面し感動する
- 18:00 メリディアン・ホテル到着

5/4

シャルルドゴール空港より日本へ